

令和５年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	千代田万世会館	所在地	千代田区外神田一丁目１番７号
-----	---------	-----	----------------

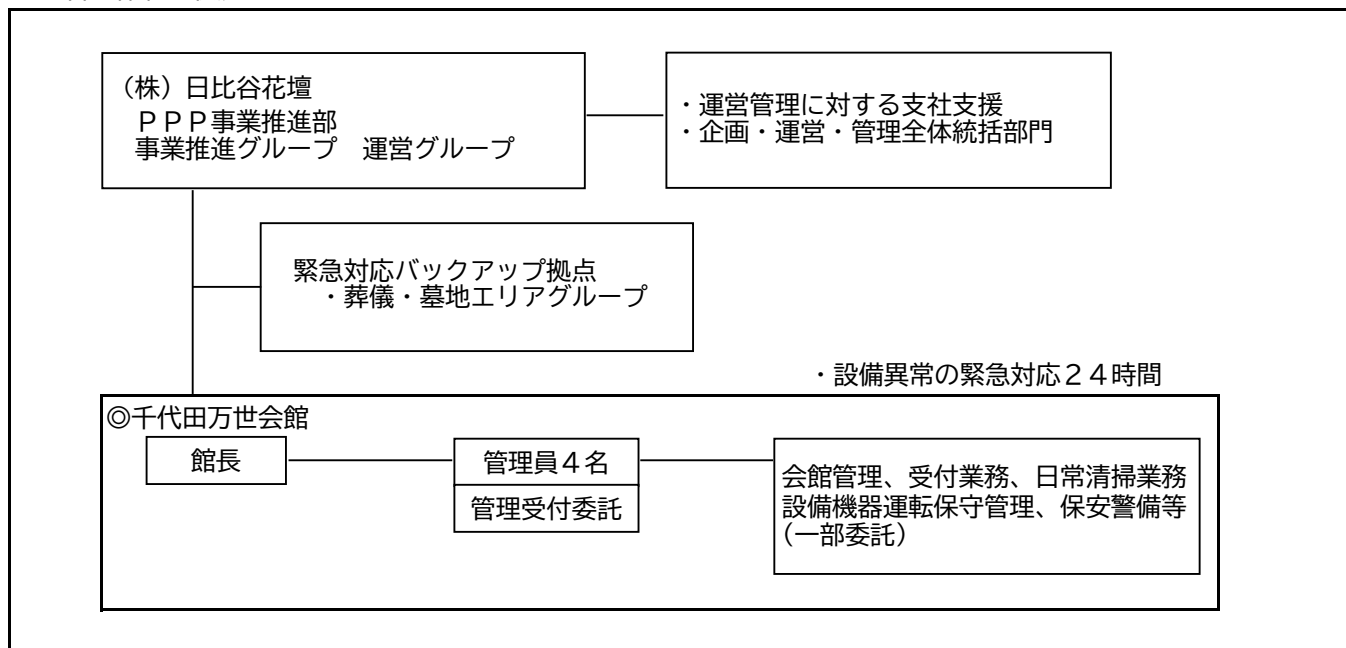
１ 指定管理者の概要

名 称	株式会社日比谷花壇	代 表 者	代表取締役 宮島 浩彰
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目１番１号		
指定期間	令和３年４月１日～令和８年３月31日	報告期間	令和５年４月１日～令和６年３月31日

２ 管理施設の概要

施設の目的	区民に葬儀および法要の場を提供し、区民福祉の増進を図る。
管 理 業 務 の 内 容	・千代田万世会館の施設の利用承認等に関する業務 ・会館の保守及び維持管理に関する業務 ・会館の運営に関する業務

３ 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 利用実績

令和5年度	①葬儀利用 ※は1日1組の葬儀とし 休館日を除いた日数	②遺体保管用冷蔵庫 ※は1日2遺体利用とし た延べ日数	③会議・法要利用 ※は休館日を除いた日数
(A) 利用可能日数※	357日	730日	357日
利用件数	69件	58件	24件
(B) 利用日数	129日	288日	23日
利用率 (B) / (A)	36.1%	39.5%	6.4%

※休館日：令和4年度は年始（1月1日・2日）及び奇数月最終友引日等の合計8日

【参考】過去3年間の実績	①葬儀利用		②遺体保管用冷蔵庫		③会議・法要利用
令和4年度	77件	133日	52件	234日	19件
令和3年度	72件	127日	56件	234日	2件
令和2年度	58件	107日	49件	199日	6件

イ 施設等の維持管理業務

- ・建物、設備保守管理 ・施設清掃業務（害虫駆除含む） ・消防設備等保守
- ・警備業務 ・音響設備保守 等

5 収支の状況

収 入		支 出	
指定管理料	23,674,000円	人件費	9,017,412円
利用料金	6,840,400円	維持管理費	15,493,227円
その他（自動販売機売上収入）	46,115円	運営費	3,785,273円
合計（①）	30,560,515円	合計（②）	28,295,912円
収支差額（①－②）	2,264,603円		

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
・遺体安置用冷蔵庫入替え 区主導のもと、遺体安置用冷蔵庫（以下冷蔵庫）を交換した。従来使用していた冷蔵庫は故障やオゾン発生装置の不具合等があり、利用者にとっては決して満足のいく設備ではなかった。そのため、利用者の意見を取り入れながら、冷蔵庫の入替えを実施した。 ・施設修繕 令和5年度も利用者の安心、安全の為に施設の修繕を実施した。特に、利用者の安全を考慮し、2階防火シャッターの手動開閉装置を修理した。本装置は、経年による劣化が見られ、災害の際の動作不良が懸念されることから修理を実施した。 フラワーアレンジメント教室 令和5年度も前年度に引き続きフラワーアレンジメント教室を実施した。これは区民のための施設である万世会館への認知向上と、地域の新たなコミュニティ創出を目指すものであり、令和5年度は参加者数が延べ82名となった。 ・終活講座 令和5年度は新しい試みとして区民向けの終活講座を開始した。葬儀会館としての万世会館の認知向上と高齢者区民の”知りたい”情報の提供を目的としたものである。本件は令和6年度も引き続き実施する予定である。	令和5年度利用料金収入は、6,840千円、計画対比80.9%に留まった。前年度と比較すると、172千円の減額、2.5%の減少となった。支出は、計画対比▲1,272千円、95.7%とわずかにマイナスとなった。 葬儀式利用は前年度対比90.4%となり、コロナ禍以降で初めての前年割れとなった。会議・法要はコロナ禍以降に利用する団体が定着し、数件の新規団体も加わり前年度対比127.7%となった。付帯設備（遺体安置用冷蔵庫）利用も前年度対比で126.7%と増加した。これは、利用件数の増加もさることながら、1件あたりの利用日数が増加したためである。 経費は、電気料金の高騰が続いており、光熱水費が前年度に比べ2.1%とわずかではあるが更に増加した。人件費、消耗品費、その他（広告宣伝費・雑費等）が削減されており、全体経費は前年度対比101.1%とほぼ前年と同様の結果となった。 区からの光熱費高騰に伴う指定管理料の追加（431,580円）があり、最終的な収支は55千円のプラスである。 利用収入金の大半を占める葬儀利用はその規模が縮小傾向（家族葬、1日葬）を続けており、コロナ禍以前のような大規模な葬儀は稀になってきている。しかしながら、コロナ禍で制限されていた通夜振舞い、精進落とし等の食事が再び利用されるようになり、それに伴い葬儀1件あたりの単価は回復してきている。

7 区による評価・業務改善要求

利用者が安心して施設を利用できる環境整備や自主事業による万世会館周知に努めており、高く評価できる。施設管理においては、設備保守点検による不具合の早期発見や計画的な修繕の実施により安全性が確保されているほか、会館利用者等の意見に迅速に対応している。
--

8 今後の指定管理に区が期待すること

葬儀規模は、今後も縮小傾向となっていくことが想定される。万世会館は中・小規模葬儀に適している施設であることをアピールするとともに、これまでの運営ノウハウを活かした利用者サービスの提供や会議室のさらなる活用を引き続き期待する。
